

農業川柳

結果発表

募集テーマ
食や農への想い

たくさんのご応募ありがとうございました。受賞された皆さん、おめでとうございます。入賞作品はJAホームページ（2月1日より）でも紹介しています。

応募総数
484句



最優秀賞

農業は 老化を防ぐ 優れ者

豊田市寺部町 黒野たか子さん



先生の講評

年は取っても若々しく、たくましく活動する方々の姿が見受けられます。長年の経験に基づく知識と知恵の頼もしさに敬意を表したいと思います。きつと、そうした方々の農業記録は一家の貴重な財産なのかもしれません。

優秀賞

たのもし 農一筋と 言う若さ

豊田市森町 柴田隆一さん



先生の講評

高齢化少子化による労働人口減少。そんな中、農業の跡を継ぐと決めた息子に頼もしく、その頑張り続ける顔が輝いて見える。きつと、知恵と工夫で新しい世界を切り開いてくれるのです。若者たちの未来を期待しましょう。

優秀賞

団らんに 幸せ添える 我が野菜

豊田市長沢町 柴田幸子さん



先生の講評

貸農園でしょうか。家庭菜園でしょうか、近所の農家に教わりながら作った作物が立派に実りました。幸せな夕餉に自慢の野菜が輝いているのです。いや、専業農家の方が工夫を凝らした初生りを誇っているのかもしれない。

総評

今年も大勢の参加をいただきました。農業は高齢化や労働人口の減少など様々な課題を抱えていますが、何といても食料安保の言葉に代表されるように国を背負う基幹産業なのです。自然との闘いでもあるため制御困難な側面もあつていいます。さらには、先祖代々築いてこられた農地を守り続けることの大切さも認識しなければなりません。

そうした農業に対する誇りを抱き未来を見つめる頼もしい若者や、経験と実績を誇る高齢者、移住によって新しい挑戦者も増えていきます。戦地の子どもたちへの思いやりなど視野の広い視点の句もありました。全体を通して、限らない農業への愛情と誇りを詠んだ句の山々を楽しませていただきました。



審査員 重徳 光州 先生
1939年生まれ、豊田今町
在住。名古屋藩傘川柳会名誉
会長を務める。現在、豊田
ほうなん川柳講師。

佳作

農継ぐと 決めた息子に 光る汗

豊田市山之手 ベンネム 稲垣 義舟さん

農情報 スマホ開いて 語る妻

豊田市小原北町 水野 行司さん

芋振りの 歓声ひびく 赤帽子

豊田市大林町 森 途時さん

この田畑 知恵を磨けば 実を結ぶ

豊田市加納町 ベンネム もつささん

喜寿迎え もうひと花と 鎌を買う

豊田市平山町 ベンネム まゆゆさん

この野菜 戦禍の子らに 届けたい

豊田市山之手 ベンネム かほちゃんさん

いつ時くの 黄ばんだノート 我が宝

豊田市深田町 ベンネム 柿の実さん

食卓は 父の話題の フルコース

みよし市二反丘 ベンネム すずきさん

廃棄食材 ひと手間掛けて 食卓へ

豊田市青木町 宮崎 まゆみさん

農移住 流した汗が 秋実る

豊田市高岡町 高野 敏夫さん

安全と 安心買いの 地元産

豊田市豊栄町 ベンネム とよ爺さん

菜園が エンジェル係数 ちよと下げ

豊田市樹木町 岩月 豊子さん

宅配に 新鮮野菜と 愛詰める

豊田市足助白山町 河合 寛招さん

野菜作りで ご近所デビュー した夫

豊田市河合町 ベンネム 麗さん

AIと 共同作業で つくる米

豊田市普照町 ベンネム マツツオーノさん